

付議事件及び審議結果

11月8日上程

議案第54号 平成23年度坂城町一般会計補正予算(第5号)
について

11月 8日 可決

平成23年第3回坂城町議会臨時会

目 次

第1日	11月8日(火)	
○議事日程	2
○会議録署名議員の指名	2
○会期の決定	2
○町長招集あいさつ	2
○議案第54号の上程、提案理由の説明、質疑、採決	4
○町長閉会あいさつ	9

平成23年第3回坂城町議会臨時会会議録

1. 招集年月日 平成23年11月8日
2. 招集の場所 坂城町議会議場
3. 開 会 11月8日 午前10時00分
4. 応招議員 14名

1 番議員	塩 入 弘 文 君	8 番議員	入 日 時 子 君
2 〃	吉 川 まゆみ 君	9 〃	大 森 茂 彦 君
3 〃	西 沢 悦 子 君	10 〃	中 嶋 登 君
4 〃	塩野入 猛 君	11 〃	塚 田 忠 君
5 〃	窪 田 英 子 君	12 〃	池 田 弘 君
6 〃	塚 田 正 平 君	13 〃	柳 澤 澄 君
7 〃	山 崎 正 志 君	14 〃	宮 島 祐 夫 君
5. 不応招議員 なし
6. 出席議員 14名
7. 欠席議員 なし
8. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者

町 長	山 村 弘 君
副 町 長	宮 下 和 久 君
教 育 長	長谷川 臣 君
会 計 管 理 者	中 村 清 子 君
総 務 課 長	田 中 一 夫 君
企 画 政 策 課 長	宮 崎 義 也 君
まちづくり推進室長	青 木 昌 也 君
住 民 環 境 課 長	塚 田 陽 一 君
福 祉 健 康 課 長	塚 田 郁 夫 君
子 育 て 推 進 室 長	天 田 民 男 君
産 業 振 興 課 長	小 奈 千 秋 君
建 設 課 長	荒 川 正 朋 君
教 育 文 化 課 長	柳 澤 博 君
収 納 対 策 推 進 幹	春 日 英 次 君
総 務 課 長 補 佐	
総 務 係 長	青 木 知 之 君
総 務 課 長 補 佐	
財 政 係 長	臼 井 洋 一 君
企 画 政 策 課 長 補 佐	
企 画 調 整 係 長	中 村 淳 君
9. 職務のため出席した者

議 会 事 務 局 長	塩 澤 健 一 君
議 会 書 記	金 丸 恵 子 君

10. 議事日程

第 1 会議録署名議員の指名について

第 2 会期の決定について

第 3 町長招集あいさつ

第 4 議案第54号 平成23年度坂城町一般会計補正予算（第5号）について

11. 本日の会議に付した事件

10. 議事日程のとおり

12. 議事の経過

議長（宮島君） おはようございます。ただいまの出席議員は14名であります。

定足数に達しておりますので、これより平成23年第3回坂城町議会臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

地方自治法第121条の規定により出席を求めた者は理事者を初め各課等の長であります。

議長（宮島君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎日程第1「会議録署名議員の指名」

議長（宮島君） 会議規則第120条の規定により11番 塚田忠君、12番 池田弘君を会議録署名議員に指名をいたします。

◎日程第2「会期の決定について」

議長（宮島君） お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日1日といたしたいと思えます。

ご異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

議長（宮島君） 異議なしと認めます。

よって、本臨時会の会期は本日1日と決定をいたしました。

◎日程第3「町長招集あいさつ」

議長（宮島君） 町長から議会招集にあたり発言を求められておりますので、これを許可いたします。

町長（山村君） 皆さん、おはようございます。

平成23年第3回坂城町議会臨時会招集にあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

本日ここに平成23年第3回坂城町議会臨時会を招集いたしましたところ、議員の皆様全員のご出席をいただき開会できますことを心から感謝申し上げます。

去る10月28日、町内企業におけるタイの洪水災害の被害状況を把握するため「タイ洪水災害情報交換会議」を開催いたしました。

現在7社が生産工場または駐在員事務所としてタイに進出されております。そのうち2社が浸水被害に遭い、また被害を受けていない企業におきましても取引企業が被害に遭い、部品調達や納品に影響が出ているとお聞きしたところでございます。進出企業の皆様には心からお見舞いを申し上げます。

町といたしましては、引き続き、国や県、ジェトロ等関係機関からの情報収集に努め、企業の皆さんに情報を提供していきたいと考えております。

さて、3月11日の東日本大震災は、死者・行方不明者合わせますと約2万人という尊い命を奪い、多くの方の災害を受けました。さらに福島原発事故をも引き起し、これにより大勢の方がふるさとを追われ、厳しい生活を強いられる悲惨な、痛ましい災害となってしまいました。この震災により原子力発電・自然エネルギーなどのとりわけエネルギー問題、そして、その確保ということにつきまして国民が非常に大きな関心を持つようになったと考えております。

エネルギーにつきましては、坂城町におきましても、いわゆるクールビズ期間の延長、議会におかれましては、6月、9月議会でのノーネクタイでの開催等が行われ、節電に努めていただいたところでございます。引き続き冬場におきましても、いわゆる「ウォームビズ」を導入して、省エネに取り組んでまいります。

さて、県が進めておりますソフトバンクのメガソーラー建設候補地の誘致に対して、当町でも町有地である五里ヶ峰の山林で今年6月に手を挙げておりましたが、過日、県としての公表する市町村の設置候補地については、山林は除外する旨の連絡があり、現在のところソフトバンクに係る誘致には至らない状況であります。

しかしながら、その後の発表した9カ所を見ますと山林が入っていましたけれども、一体どうなんだということを県に申し上げましたけれども、これは第1回だということでございますので、引き続き私ども努力したいと思っております。

これとは別にエネルギー消費が大きい工業を主要産業としている当坂城町として、エネルギー問題への対応が重要であると考え、国の補助事業である「スマートコミュニティ構想普及支援事業」に応募申請をしたところであります。

国から委託された「新エネルギー導入促進協議会」では、当初9月上旬に採択の決定をするとしておりましたが、応募が予想より多かったことなどから審査に時間を要し、10月中旬での採択決定となりました。

しかしながら、事業の完了は年度内ということに変わりありません。迅速な事業執行が求められることから、大変急なことではございますが、本日、臨時議会をお願いし、関係予算を上程させていただくことにしました。

この事業は電力需給両面での変化に対応し、情報通信技術を活用して効率的に需給バランスをとったり、熱や未利用エネルギーを含めたエネルギーを地域単位で総合的に管理し、融通し合えるような、いわゆる「スマートコミュニティ」の導入につなげるための町内の状況調査を行うものであります。

事業採択については非常に競争率の高い事業とのことで、全国で48事業が採択された中で、町村では北海道のニセコ町とともに当町坂城町が採択されました。県内では、この坂城町と須坂市の2団体のみが採択されたというところでございます。

本日、よろしくご審議を賜りまして、ご協賛賜りますよう、よろしくお願い申し上げ、招集のごあいさつといたします。ありがとうございました。

◎日程第4「議案第54号 平成23年度坂城町一般会計補正予算（第5号）について」

議長（宮島君） 職員に議案を朗読させます。

（議会事務局長朗読）

議長（宮島君） 朗読が終わりました。

提案理由の説明を求めます。

町長（山村君） それでは、議案の説明をさせていただきます。

議案第54号「平成23年度坂城町一般会計補正予算（第5号）について」でございます。

ご説明申し上げます。

本件は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8億1,580千円を追加し、歳入歳出予算の総額を58億4,678万6千円といたすものであります。

内容につきましては、経済産業省の補助事業である「スマートコミュニティ構想普及支援事業」が採択されたことから、その実施に係る予算を計上いたすものでございます。

太陽光や風力などの自然エネルギー、再生可能エネルギーは、エネルギーセキュリティやCO₂の排出削減を目指す上で重要なエネルギー源であり、今後の導入・普及に大きな期待が集まっているところであります。

しかし、これら再生可能エネルギーは自然まかせの部分もあり、出力が不安定で制御も困難であるため、大量導入された場合、必ずしも現在の電力供給システムでは十分な受け入れができない可能性があります。

一方、電力の需要面では電気自動車など次世代自動車の普及や家庭内における電化が進展しつつあります。今後さらに多くの電力が必要となることを見込まれるところでございます。

このような電力需給両面での変化に対応し、電力利用の効率化を実現するために、情報通信技術を活用して効率的に需給バランスをとり、電力の安定供給を実現するための電力送配電網は「スマートグリッド」と呼ばれ、スマートグリッドによる電気の有効利用に加え、熱や未利用エネルギーも含めたエネルギーを地域単位で総合的に管理し、住民のライフスタイルの転換などを複合的に組み合わせた社会システムが「スマートコミュニティ」と呼ばれるものでございます。

平成22年6月に閣議決定されたエネルギー基本計画でも、この「スマートコミュニティ」の実現を目指すとの方向づけがなされておりますが、地域の実情に即した形で「スマートコミュニティ」の構築を進めていくためには、地域ごとの詳細な調査や実行計画の作成が必要になってまいります。

この事業化可能性調査を自治体などが円滑に進め、スマートコミュニティの加速的な導入・普及につなげることを目的として、このたび当町が事業採択されたものでございます。

具体的な調査内容につきましては、3つの柱建てになっており、第1に「再生可能エネルギーの効率的利用に関する調査」として電力需要パターンの把握や再生可能エネルギーの需給可能性調査、需給管理の体制や事業化の検討などを行い、第2に「再生可能エネルギーに関する調査」として、過年度作成した「新エネルギービジョンを参考に太陽光発電・太陽熱利用、バイオマス利用可能量などの調査を行います。

そして第3として、町民の「エネルギーの効率的利用」や「省エネ」などライフスタイルの変革の方向性を検討するため「住民意識調査」を実施いたしますのでございます。

また実施体制といたしましては、産学民の有識者や実務者で構成する「坂城町スマートコミュニティ推進委員会」を設置し、各種調査につきましては、専門的な知見や技術を有する民間事業者への委託を予定しております。

補正予算の内容をご説明いたしますと、歳入の主な内容につきましては、スマートコミュニティ構想事業に係る補助金753万5千円、基金繰入金62万3千円でございます。

歳出の主な内容につきましては、推進委員報酬19万9千円、先進地視察旅費22万6千円、報告書印刷製本費44万円、郵送料14万7千円、調査委託料690万円などでございます。

以上よろしくご審議の上、適切なるご決定を賜りますようお願い申し上げます。ありがとうございました。

議長（宮島君） 提案理由の説明が終わりました。

ここで議案調査のため暫時休憩をいたします。

（休憩 午前10時14分～再開 午前10時15分）

議長（宮島君） 再開いたします。

これより質疑に入ります。

9番（大森君） 議案に対してお尋ね申し上げます。

スマートコミュニティ構想の普及支援事業、これについてであります。本当に焦眉の課題ということで大事な取り組みだということで、いち早く手を挙げたということでは本当に評価するところであります。

一方で、これまでの自然エネルギーに対する町の取り組み状況という点から見ますと、県下でも非常に遅れた状況ではないかというふうに思うわけです。そのためにも、この調査を年度内に済ませ、来年度に生かしていくということは本当に大事な取り組みだということであるわけですが、ですから、今取り組まれている町の姿勢が一体これまでの姿勢でいいのかということをお尋ねしたいわけでありまして。

坂城町では太陽光発電の補助金が22年度から始まりまして、その補助金が1kW当たり非常に低い額、他町村と比べれば低い額であります。例えば例を出しますと南箕輪村では5つの事業で補助金を出しております。バイオマスだとか太陽光発電、あるいは太陽熱エネルギー、そしてまた御代田町でも5つのものがあります。風力まで含めてこれが取り組まれております。また高山村では太陽光発電で1kW当たり7万円、限度額が35万円の補助をつけて取り組んで頑張っていると、こういう状況の中で、坂城町では1kW当たり1万5千円、そして上限が7万円と本当に取り組み具合からいけば、これに手を挙げるような体制ではないというふうに私は思うわけです。

これは今までの町政の問題であったわけですが、やはりこれをいち早く改善しながら、このスマートコミュニティの構想が、調査を行いまして、やはり全国に先駆けてエネルギーの需給バランスをとっていくという、こういう方向性をぜひ求めていくわけですが、それに先立ちまして来年度についても、自然エネルギー、そして太陽光発電についての計画補助、これについても考えていくべきだというふうに考えるんですが、その点についてどのようにお考えでしょうか。

企画政策課長（宮崎君） お答えいたします。

今までの太陽光発電に対する補助事業につきましては、kW当たり1万5千円、上限7万5千円ということで、県下の中で大変低いというようなご指摘でございますけれども、これにつきましては、金額的には確かにおっしゃるとおりという部分はありますが、ただ、県下の中で、まだ半分の市町村はこういった助成措置もしていないという中での取り組みであったということもご理解いただければありがたいと思います。

今回スマートコミュニティの関係の助成事業に手を挙げて調査事業というような取り組みをしているということで、今までとは電力需要も3月11日の震災以来、国民、そして町民の皆さんの考え方も大きく変わってきていると、そういう中で今回の補助事業、特に東北地

域については、これによって地域をより豊かにしていきたいと、そういう取り組みも始まっている中で私どもも手を挙げさせていただいております。

今回調査をする中で、自然エネルギー、太陽光あるいはバイオマス、いろいろな部分がありますけれども、これの可能性調査も含めて取り組んでいきたいということで、これらの調査を踏まえて今までの事業について足りないとすれば、そこら辺についての見直しも検討していきたいと考えておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

9番（大森君） この調査がされて、それに基づいて具体的な政策が出てくるというふうに思うわけですが、それに期待したいというふうに思うわけですが、やはり来年度ぜひ検討していただきたいというふうに思います。以上です。

3番（西沢さん） この構想についての事業の中で、意識調査については基本的に全町民対象ということでございましたけれども、構想について町民の皆さんに理解を得るためにどういう方法あるいはどんな説明をしていくかということについては、どのようにお考えでしょうか。

企画調整係長（中村君） まず先般、全員協議会で、私、全戸というふうにアンケート調査を申し上げたところでございます。ちょっとその辺、私の説明ミスでございまして、現在この補助事業の中では町内1千軒ということで実施を計画してございます。その1千軒につきましては、できるだけ平均的な抽出を考えていきたいというふうに計画をしてございます。

住民への説明ということでございますけれども、いろいろな調査がこれから出てまいろうかというふうに思います。その調査結果なども踏まえて、どのような事業ができるかという部分について、今後住民の皆様、それから関係機関の皆様、事業主の皆さん等に、それぞれ方向性を含めた部分がお示しできるような状況の中で説明をしてまいりたいというふうに考えてございます。よろしく願いいたします。

3番（西沢さん） 1千戸の抽出ということですが、町の中の調査とすれば世帯数からいくとかなりな率になると思います。それで全体的に、この構想はこういうものだよという、まず初歩的な部分については広報とかそういう部分での説明になるのかどうか、その点だけお聞きしたいと思います。

企画調整係長（中村君） 広報等の説明ということでございます。今般、急遽採択になったということでございまして、時間的には非常に厳しいものがございまして、住民アンケート調査につきましては、できるだけそういった情報提供もしながら進めてまいりたいというふうに考えてございます。

7番（山崎君） スマートコミュニティの推進委員会を設置するわけですが、設置の時期と、あとのような方たち、産学民とおっしゃいましたが、どのような形でどのような方を選定されるのか、また人数的にはどんなふうになっているのか、その辺をお聞きしたいと思っております。

企画調整係長（中村君） お答えをいたします。

まず、スマートコミュニティ推進委員会の設置につきましては、現在、産学民の皆様ということで、それぞれ農業の代表であるとか商工業の代表であるとか、また住民の代表であるとか、そういった皆さんをお願いすべく現在、候補になる皆様に折衝しているという段階でございます。人数的には10人程度ということで現在考えてございます。

設置の時期ですけれども、今議会で予算をお認めいただきましたら、なるべく早い時期ということで、できるだけ今月中に最初の第1回を開催をしていきたいというふうに考えてございます。

7番（山崎君） 坂城町にはたくさんの企業があります。その代表者ということですが、坂城町で、そういう部分でいろいろ企業同士のタイアップなんかするという部分を考えながら進めていくべきだと思いますが、できるだけそういう企業を取り入れるという感覚・形は持っているのかどうか、そういう部分をお尋ねします。

企画調整係長（中村君） 特に工業関係の皆様につきましては、坂城町にテクノ工業団地組合という一定程度この集团的にいろいろ運営されている部分がございますので、そういった皆様に今後、電力を非常に多く使う工業という分野で、いろいろな部分、協力をお願いしていくという部分がございますので、その関係の皆様等含めてご意見を頂戴していきたいというふうに考えてございます。

10番（中嶋君） ただいまやっと議長からお許しが出ましたので、発言をさせていただきます。

スマートコミュニティ構想ということで、すばらしいことを坂城町は日本の先駆けとなるように始まったと。すばらしいことだと思います。

いみじくも我が委員会でございます。総務産業常任委員会で11月1日に葛巻町に行ってみまして、日本でも一番やはり電力関係に関しては進んでいる町を視察をしてみました。やはりそこで視察してきたというのは、全部は見れなかったのですが、一応いろいろ説明員の方にご説明をいただいたり、また葛巻町からは副議長さんもお見えになっていただいて、いろいろ歓待をしていただきました。

その中で風力が12基ございました。それから、もちろん太陽光発電は小学校の体育館とか、いろいろそういうところに何か所もやっている部分がありました。それから、やはりこの町は牧場があるような町でございましたので、バイオマスが盛んに行われているというようなことでありました。それからあと、やはり森林もたくさんあるということで、チップをつくりまして、そのチップを焚くことによってボイラー、それでまた電気をとるというような、日本で一番進んでいるところだということでありましたので行ってまいりました。

やはり今、大森議員も私の委員会でおりましたので、いろいろなお話があったわけですが、ただやはり先進地になりますと、ここで細かなことは申し上げませんが、坂城町も先ほどご報告があったように、5万円から7万5千円だと。これは坂城町も私は長野県下

でも手をつけたということに対しては評価をしております。ですから、そういう部分を考えれば、これから余計に今の、英語っぽい言葉でどうもすみません、スマートコミュニティですか、グリッドとか何とかいろいろあるようですが、とにかく坂城町がそういうことでうまくいけば日本中が真似するようなことになると思いますので、その流れからいきますと、とにかく補助金の関係ではありますが、いろいろまたこれから、私の言いたいことは、できるだけやはりそういうところで手を挙げたもので、言うなれば全国的に恥ずかしくないような補助金体制をきちっととっていただいて、また、いろいろなことに取り組んでいただいて、町民の皆さんを巻き込んで、この事業が成功することを願うものであります。特に質問ではありません。以上であります。

議長（宮島君） これにて質疑を終結をいたします。

「質疑終結、討論なく（原案賛成、挙手全員により）可決」

議長（宮島君） 以上で本日の議事日程は終了いたしました。

町長から発言を求められておりますので、これを許可いたします。

町長（山村君） ありがとうございました。平成23年第3回坂城町議会臨時会の閉会のごあいさつを申し上げます。

ただいまご提案させていただきました「スマートコミュニティ」関連議案につきまして、原案どおりご決定を賜り、誠にありがとうございます。

情報通信技術を活用しての効率的なエネルギーの活用、熱や太陽光等のエネルギーを地域単位で総合的に管理し、融通し合えるような「スマートコミュニティ」導入に向けての実態調査は、将来の坂城町のまちづくりには必要不可欠と考えますので、早速事業に着手取り組んでまいりたいと考えております。スマートコミュニティといいますか、スマートタウン坂城というものをつくっていきたいと思っております。

いよいよ冬も目前になってまいりました。議員各位のご健勝とご活躍をご祈念申し上げまして閉会のごあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

議長（宮島君） これにて平成23年第3回坂城町議会臨時会を閉会といたします。

ご苦労さまでした。

（閉会 午前10時32分）

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する

坂城町議会議長

坂城町議会議員

坂城町議会議員